

日本近世初期における渡来朝鮮人の研究：加賀藩を中心に

著者	鶴園 裕, 笠井 純一, 中野 節子, 片倉 穰
著者別表示	Tsuruzono Yutaka, Kasai Junichi, Nakano Setsuko, Katakura Minoru
雑誌名	平成2(1990)年度 科学研究費補助金 一般研究(B) 研究成果報告書
ページ	200p.+ Appendix document 22p.
発行年	1991-03-01
URL	http://hdl.handle.net/2297/45832



日本近世初期渡来朝鮮人一覧稿

本稿は、近世初期の渡来朝鮮人・その他関係事項について、下記参考資料等から忽卒に抜出したものであり、体裁も不統一である上、不完全な中間報告にすぎない。今後関係文献を渉猟し、補訂に努めて行きたい。

参考資料および略称

『内藤』：内藤雋輔『文禄慶長役における被擄人の研究』（東大出版会、1976）

「丸茂」：丸茂武重「文禄慶長の役に於ける朝鮮人抑留に関する資料」（『國史学』61、1953）

「アンケート」：本研究会が行なったアンケート調査の結果（本報告書に詳細を掲載）

地 域	渡来人名その他	出 典 そ の 他
宮 城	高麗氏某 (切米焼)	「アンケート」(山岡院空源妙蘊大師) 「アンケート」(但し否定的な論が多い)
栃 木	将軍の厨子	『内藤』 p181.(慶州の生れ)
東 京	李愛賛 曹一男 金僉使の子 春伊(崔弘烈の妻) 崔順伊 一女子(淳昌生れ) 朴應仁 秦尚礼 苐叱金 叱沙里 者叱徳 安慶佑 朴佑の女	『内藤』 p146, 150. 『内藤』 p146.(平戸から来着) 『内藤』 p146.(放砲を善くす) 『内藤』 p149. 『内藤』 p149.(春伊の子) 『内藤』 p150. 『内藤』 p150. 『内藤』 p150. 『内藤』 p193. 『内藤』 p193. 『内藤』 p193.(叱沙里の妻) 『内藤』 p193.(医術、300石) 『内藤』 p202.(家光の侍女)
静 岡	おたあジュリア 允 福 木工・銅工等の技術者? 駿河版関係の技術者? 良知家?	「丸茂」「アンケート」 『内藤』 p67, 201.(宦官)「アンケート」 「アンケート」 「アンケート」 「アンケート」
名古屋	朴承祖 蔚山生れの被擄人 鎮海出の被擄人 一女子(金海生れ) 南海の居民	『内藤』 p144, 150, 151, 201.(徳川義真の臣) 『内藤』 p144.(徳川義真の臣、鳥銃の技を教う) 『内藤』 p144.(徳川義真の臣、鳥銃の技を教う) 『内藤』 p145. 『内藤』 p179.
岐 阜	岡田将監の妻	『内藤』 p144, 202.
三 重	栗本與三右衛門 武左衛門/権太夫 権右衛門/八右衛門	「アンケート」 「アンケート」 「アンケート」
石 川	本報告書所収「加賀藩における渡来朝鮮人」〔別表Ⅰ〕参照。	
滋 賀	被擄二女(両班の女) 被擄三女(全羅の者)	『内藤』 p144. 『内藤』 p150.

<p>京 都</p>	<p>姜沆 (姜睡隱) 姜渙 姜濬 金捧 金禹鼎 姜士俊 申徳驥 鄭連守 李曄 申繼李 金景行 林子敬 徐慶鵬 徐慶春 高敬民 李甲 趙完壁 張仁凱 羅允弘 (紅) 柳植 柳錫俊 李行一 金吉生 河完海 河愐 李猷民・その妹 金命順 順興君 李憲 一女子 (全羅道昌平の人) 李成立 金春福 李文長 被擄人 6人 被擄人ら 大春 妙雲 南忠元の女子 宗嚴</p>	<p>『内藤』 p2, 15, 471, 743. 「アノクト」 『内藤』 p24. (姜沆の兄) 『内藤』 p24. (姜沆の兄) 『内藤』 p24. (姜沆の妻の父) 『内藤』 p24. 『内藤』 p8, 24. (慶長6年刷還) 『内藤』 p24. 『内藤』 p24. 『内藤』 p25, 201. (加藤清正の虜、秀吉に送らるも逃亡、自害) 『内藤』 p27, 484. 『内藤』 p33. 『内藤』 p44, 473, 477. 『内藤』 p44, 477. 『内藤』 p44, 477. 『内藤』 p44. 『内藤』 p44. 『内藤』 p75. 『内藤』 p94. 『内藤』 p94. 『内藤』 p94, 102, 107. (女性) 『内藤』 p94, 107. (女性) 『内藤』 p96. 『内藤』 p98. 『内藤』 p98. 『内藤』 p100. (僧侶) 『内藤』 p106. 『内藤』 p107. 『内藤』 p107. 『内藤』 p107. (女性) 『内藤』 p142. 『内藤』 p142, 201. (北政所に仕えた宦者) 『内藤』 p142, 201. (北政所に仕えた宦者) 『内藤』 p143. 『内藤』 p151. 『内藤』 p177. (170人の内、男子は二三人) 『内藤』 p194. (女性、光州生れ) 『内藤』 p194. (女性、光州生れ) 『内藤』 p202. (北政所に仕えた女性) 『内藤』 p311. (金戒光明寺を開創)</p>
<p>大 阪</p>	<p>ナマリ千代 被擄男女群衆 男女21人 白受繪 安必得 海平令 一老婦 柳命還 梁夢麟 慎向・恵蘭 被擄人ら 魯認 (錦溪) 奇孝淳</p>	<p>『内藤』 p771. 「アノクト」 「丸茂」(黄慎『日本往還日記』、堺浜で通信使の帰国に際し物狂おしげに絶叫した) 『内藤』 p7. (慶長 5年大坂より逃還) 『内藤』 p27, 485. (小西長右衛門の家にいた被擄人) 『内藤』 p64. 『内藤』 p78. 『内藤』 p93. 『内藤』 p100, 106. 『内藤』 p100, 106, 107, 201. 『内藤』 p100, 102, 106, 107. (女性) 『内藤』 p182. (通信使の門外には来るが同行は願わない) 『内藤』 p347, 474. 『内藤』 p349.</p>

和歌山	李真栄（一恕） 李梅溪 李立卓 西養 金継銘	『内藤』 p772. 「丸茂」「アンケート」 『内藤』 p772. 「丸茂」「アンケート」 「丸茂」「アンケート」 『内藤』 p772. (海善寺の僧) 『内藤』 p104.
兵庫	武林唯右衛門 梁應海 金應昌 韓應鳳 一被擄人（東萊生れ）	「アンケート」島根県立図書館回答 『内藤』 p96, 111, 112. (僧侶) 『内藤』 p96. (僧侶) 『内藤』 p96, 112?. 『内藤』 p176.
鳥取	海老屋・綿屋・対馬屋・炭屋、他	『内藤』 p770. (宮部市兵衛の捕虜、銀山の出現に乗じて蓄財、富商となり城下に一家をなす)
島根	李郎子 李陶仙・金陶仁 泉大官	「アンケート」 「アンケート」 『内藤』 p707.
岡山	八千（松村弥三郎） （唐人山） （唐人） 高麗人 7人 （唐畑・唐人畑・唐人開） 左京	『内藤』 p766. 「丸茂」 『内藤』 p769. (久米郡大井西村字坪井上・賀陽町の地名) 『内藤』 p769. (勝南郡和氣庄羽仁村にある姓) 『内藤』 p769. (平松盛正の家来) 『内藤』 p769. (地名) 『可観小説』「宗近作の脇差」（本報告書所収「加賀藩における渡来朝鮮人」付載史料参照）
広島	岡井久右衛門 高麗の小童 金開金 宗室の女（祖は和陽君） 一被擄人 朴佑（休菴） 安景宇（卓菴） 金應福（正三郎） 木漢	『内藤』 p765. 『内藤』 p765. (山野井氏の郎徒) 『内藤』 p113. 『内藤』 p183, 202. (福山城主水野忠勝の妹の侍女) 『内藤』 p92. (妻は嚴渭の女) 『内藤』 p114, 119. (僧侶、嚴島で医業) 『内藤』 p114. (僧侶、医者) 『内藤』 p114. 『内藤』 p114.
山口	李 聖賢 李 如有 李 就菴 李 等和 孟 二寛（武林次庵） 岡田半左エ門 李敬（坂高麗左エ門） 李勺光 三輪忠兵衛の祖父 唐人の女房 （唐樋町） 名嶋八右衛門（趙林） 小村半珍（趙某） 朴佑の女 泉大官（小泉）	『内藤』 p757. 『内藤』 p757. (聖賢長男) 『内藤』 p757. (聖賢次男) 『内藤』 p757. (聖賢三男) 『内藤』 p758. (李聖賢の傳の一人、孫唯七は赤穂義士) 『内藤』 p759. 『内藤』 p759. (萩焼、妻も朝鮮人) 「丸茂」「アンケート」 『内藤』 p760. (萩焼、李敬の兄) 「丸茂」「アンケート」 『内藤』 p762. (萩焼) 『内藤』 p762. 『内藤』 p762. (萩市の町名) 『内藤』 p763. 『内藤』 p763. 『内藤』 p202. (吉川広家の侍女) 『内藤』 p707.

徳島	鄭希得(月峯) 鄭慶得 奥山氏一族 小濱與九郎 武市孫助の室 森志摩守の家臣 嶺順 唐人二人 高信 堤次郎左衛門信正 倉地兵庫由久の捕虜 片山半兵エの捕虜 (朝鮮女の墓) (韓人墓) 鄭子平兄弟 鄭好仁兄弟 柳仲源 李丞祥 槐山人 河天極 柳汝宏兄弟 朱晦伯 後玉 梁芻萬 朱顕男 柳澳 鄭愷 林得梯 鄭貞 鄭應	『内藤』 p3, 39, 472, 749. (『月峯海上録』慶長3年刷還) 『内藤』 p3, 40. (希得の兄) 『内藤』 p749. 「丸茂」 『内藤』 p751. 『内藤』 p754. 『内藤』 p754. 『内藤』 p754. (木村惣八先祖) 『内藤』 p755. (美馬與七の捕虜、四代善平は儒者) 『内藤』 p755. 『徳島県史』第3巻、p365. (高信の子) 『内藤』 p755. 『内藤』 p755. 『内藤』 p755. 「アネク」 『内藤』 p755. 「アネク」 『内藤』 p40. (子平は途中で溺死) 『内藤』 p40. 『内藤』 p43. 『内藤』 p43. 『内藤』 p43. 『内藤』 p43. 『内藤』 p43. 『内藤』 p44, 46. (慶長3年刷還) 『内藤』 p44. 『内藤』 p44. (女性) 『内藤』 p44, 478. 『内藤』 p46. (慶長3年刷還) 『内藤』 p46. (慶長3年刷還) 『内藤』 p46. (慶長3年刷還) 『内藤』 p46. (慶長3年刷還) 『内藤』 p46. (慶長3年刷還) 『内藤』 p46. (慶長3年刷還) 『内藤』 p46. (慶長3年刷還)
香川	(被擄百余人) 大添・小添 唐人塚 (十三塚) 熊久二郎(渡来人子孫) 唐渡甚兵衛(同上) 魯認(錦溪)	『内藤』 p740. (生駒讃岐守一正の捕虜) 『内藤』 p740. 「アネク」 『内藤』 p740. 「アネク」 『小神野夜話』(『新編香川叢書』史料編(1) p820.) 『小神野夜話』(『新編香川叢書』史料編(1) p820.) 『小神野夜話』(『新編香川叢書』史料編(1) p820.) 『内藤』 p474.
愛媛	(唐人二百余人) (唐人町) 三島屋(葉種業) 茶屋吉蔵 百濟魚文 高氏某女 佃助太夫十義 姜沆(姜睡隠) 姜渙 姜濬 金瑋 魯認(錦溪) 徐景春 梁夢麟 梁夢寅 道專居士 讓天	『内藤』 p741. (松山城下) 『内藤』 p741. (松山城下、三組あり) 『内藤』 p741. (朝鮮人子孫、有力商人) 『内藤』 p741. (朝鮮人子孫、有力商人) 『内藤』 p741. (茶屋の出身、俳人) 『内藤』 p741. (佃十成の捕虜、のち妾、十義の母) 『内藤』 p741. (十成と高氏の子) 『内藤』 p2, 15, 471, 743. 「アネク」 『内藤』 p24. (姜沆の兄) 『内藤』 p24. (姜沆の兄) 『内藤』 p24. (姜沆の妻の父) 『内藤』 p346, 474, 743. 『内藤』 p347. 『内藤』 p110, 201. 『内藤』 p111, 119. (夢麟の弟) 『内藤』 p318. 『内藤』 p316. (道專居士の子、金剛山大隆寺の住持)

高知	經東 <small>きんとん</small> 朴好仁、他30名 好赫(長次郎) (唐人町)	『内藤』 p744. (土佐名医列伝)「丸茂」 『内藤』 p747. 「丸茂」 「アケト」 『内藤』 p747. (朴好仁の子、秋月長左エ門、特権商) 「丸茂」 「アケト」
福岡	高取新九郎 八山(高取八蔵重貞) 臨海君の男女二児 尊楯(十時・上野喜蔵) 上野孫左衛門 李東成 李仁松 羅大男ら男女40余人 被擄人 100余人 姜珥ら 120余人 李太成夫妻 被擄人21人 被擄人20人 日延 日延の姉	「丸茂」 『内藤』 p727. 「丸茂」 「アケト」 『内藤』 p727. (女兒は宇喜多秀家の重臣戸川達安に娶す) 「丸茂」 「アケト」 「丸茂」 (上野喜蔵三男) 「アケト」 『内藤』 p92. 『内藤』 p78. 『内藤』 p78. 『内藤』 p79. 『内藤』 p115. 『内藤』 p117. 『内藤』 p153. 『内藤』 p321. (博多・京都・下総・安房・江戸にも居住) 『内藤』 p321. (宇喜多秀家の家老、戸川達安の側室)
佐賀	李宗欽(川崎清蔵) (南京細工人 8人) 宗傳(深海新太郎) 百婆仙(宗伝の妻) 秦伯・文烈(林一徳斎) 林利兵衛貞正・栄久 洪浩然 浄珍 暁月浄雲 九山道清 李參平(金ヶ江三兵衛) 被擄人 3人 (高麗村)[名護屋] 被擄人 2人	『内藤』 p734. 「アケト」(本来は被擄人でない、唐人町) 『内藤』 p734. (李宗欽が連れ帰る技術者) 『内藤』 p728. 「アケト」 『内藤』 p728. 「アケト」 『内藤』 p734. 「アケト」 『内藤』 p734. 「アケト」 『内藤』 p733. 「丸茂」 「アケト」 『内藤』 p733. (洪浩然と共に殉死) 「アケト」 『内藤』 p735. 「アケト」 『内藤』 p728. 「丸茂」 「アケト」 『内藤』 p120. 『内藤』 p191. (沙器を作るを業とす) 『内藤』 p194.
長崎 (対馬)	巨関(今村) 今村三之丞 今村如猿 高麗媼(中里茂右衛門妻) カイ (男女 100余名) (高麗町) 李雲従 男女 300余人 南忠元・朴彦璜 250人 被擄人85人 朴應南 被擄人1390人 被擄人 120人 被擄男婦 6人 被擄人并漂到者 9人 朴寿永 権立 辛景鸞 橘智正の妻 一女子	「丸茂」 「アケト」 「丸茂」 「丸茂」 「アケト」 「丸茂」 「アケト」 「丸茂」 (平戸城下の町名) 『内藤』 p107. 『内藤』 p7. (宗氏より慶長5年刷還) 『内藤』 p8. (宗氏より慶長6年刷還) 『内藤』 p8. (宗氏より慶長8年護送) 『内藤』 p8. (慶長 8年逃還) 『内藤』 p9. (慶長10年刷還) 『内藤』 p9. (慶長11年刷還) 『内藤』 p9. (慶長13年回還) 『内藤』 p10. (寛永7年刷還) 『内藤』 p48. (対馬の通事) 『内藤』 p64, 66. (慶長11年刷還) 『内藤』 p84. 『内藤』 p119, 202. 『内藤』 p141.

(沓岐)	金海生まれの両班 柳川調興 格軍守福の母 朴春節ら 沓岐島主の妻 松浦蔵人の生母 曹一男 申天龍 平戸太守の母	『内藤』 p141. 『内藤』 p202. (母が被擄人か) 『内藤』 p79. (慶長11年刷還) 『内藤』 p91. 『内藤』 p140, 202. (松浦蔵人の生母と姉妹) 『内藤』 p140, 202. (沓岐島主の妻と姉妹) 『内藤』 p175. 『内藤』 p175. 『内藤』 p175, 202. (昌原の両班の女の孫子)
大分	(唐人町73軒—白杵町) 三原屋善右衛門 (内田氏) 松屋小右衛門 (甲斐氏) 塩屋清左衛門 (林氏)? 菊村左三郎 梶西金左衛門 曾我清官 (波越 <small>あんなご</small> 焼) 道専居士	『内藤』 p721. 『内藤』 p722. 『内藤』 p722. 『内藤』 p722. (明人カ) 『内藤』 p722. 『内藤』 p722. 『内藤』 p723. (子孫に名僧・医官) 『内藤』 p723. 『内藤』 p318.
熊本	朝鮮二王子 日遥 (余大男) 李希伊ら 6人 良甫鑑 (金官) 李宗閑 高本慶宅 李順 (高本紫溟) 尊楷 (上野喜蔵) 上野忠兵衛 上野藤四郎 (八代焼) 道慶・慶春 渡辺藤兵衛 滝本八左衛門 (ノウシ) (高麗門通り) (蔚山町) (朝鮮飴) 金有聲ら 160人	『内藤』 p322他. 『内藤』 p298, 726. 「アケト」. 『内藤』 p309. 『内藤』 p726. 「アケト」. 『内藤』 p726. 「丸茂」 (李宗果) 『内藤』 p726. (李宗閑と日本女性の子、医師、慶宅坂) 「丸茂」 『内藤』 p726. (慶宅五代の孫、時習館教授、国文学者) 『内藤』 p727. 「丸茂」 「アケト」 「丸茂」 (上野喜蔵長男) 「丸茂」 (上野喜蔵次男) 『内藤』 p727. 「アケト」 「丸茂」 「丸茂」 『内藤』 p726. (熊本市地名) 『内藤』 p726. (熊本市地名) 『内藤』 p726. (熊本市) 『内藤』 p7. (小西行長の捕虜、慶長 5年刷還)
宮崎	シンニョム・カンニョム (庵川焼) 慎應昇 (昌)	「アケト」 「アケト」 『内藤』 p10, 85, 219. (元和3年逃還)
鹿児島	朝鮮人 155人 (文禄) 70余人、21姓 (慶長) 朝鮮人17姓 (伸・李・朴 ・卞・林・鄭・車・姜・ 陳・雀・盧・沈・金・白 丁・何・朱) 一千 (陶工集団) 星山仲次 (金海) 星山彌右衛門 (金和) 星山休左衛門 (金林) 嘉入 (星山金貞) 嘉頌 (星山)	『内藤』 p213. 『内藤』 p211. 「丸茂」 (苗代川における寛政7~10年頃の朝鮮人) 『内藤』 p767. 『内藤』 p212. 「アケト」 「アケト」 (仲次の長男) 「アケト」 (仲次の次男) 「丸茂」 「アケト」 (星山金林の子) 「アケト」 (延享)

星山仲兵衛 (金臣)	「アケト」(仲次の裔)
星山彌平次	「アケト」(仲次の支流)
星山與八	「アケト」(仲次の支流)
星山七郎次	「アケト」(仲次の支流)
芳珍 (芳仲)	「アケト」
朴平意 (興用)	『内藤』 p225. 「丸茂」 「アケト」
朴貞用 (清左衛門)	「アケト」(平意の子)
朴龍官	「アケト」(宝暦頃)
朴清智	「アケト」(宝暦頃)
朴宗仙	「アケト」(宝暦頃)
朴正官	「アケト」(文政～慶応)
朴利行	「アケト」(正官の子)
朴春勝	『内藤』 p246, 247. (享保6年)
朴龍金	『内藤』 p249(弘化2年)
朴寿悦	『内藤』 p249(弘化2年), 267, 268, 271, 280.
朴陳石	『内藤』 p263(弘化)
朴正悦	『内藤』 p271.
朴泰潤	『内藤』 p272, 273.
朴論悦	『内藤』 p280.
沈當吉	「丸茂」 「アケト」(沈家元祖)
沈壽官	「アケト」(明治)
李文長	『内藤』 p85, 219. (大坂に移さる⇒京都)
李利官 (庄 [庶左] 衛門)	『内藤』 p245. (延宝3年、庄屋代) 「アケト」
李欽勝	『内藤』 p245(貞享2年、賜名), 247(享保6年), 255(通事) 296.
李欣達	『内藤』 p256(享保～宝暦、通事), 296.
李寿衛	『内藤』 p256(欣達の子、享保～安永、通事), 262, 297.
李泰碩	『内藤』 p296. (安永、通詞)
李元達	『内藤』 p297. (通詞)
大迫秀明	「アケト」
高城元六左衛門	「アケト」
申 (伸) 主碩 (田原友助)	「アケト」(田原家元祖) 『内藤』 p246, 247. (享保6年)
申龍助	『内藤』 p230. (元禄4年、島津光久の小姓)
申真川 (伸新川)	『内藤』 p245. (明暦元年、賜名)
伸主山	『内藤』 p246, 247. (享保6年)
田原萬助	「アケト」(友助の弟)
田原次郎左衛門	「アケト」(友助の孫)
金光	『内藤』 p8, 58, 215. (朝鮮王族?)
鄭邦慶	『内藤』 p9, 83, 218. (慶長15年帰国)
全以生	『内藤』 p11. («薩摩にある被擯人は37,000余人」)
金震生	『内藤』 p75, 219.
金蔵 (和名)	『内藤』 p107, 219.
嘉儀 (朱嘉喜)	『内藤』 p221.
卞千詳	『内藤』 p230. (元禄4年、島津光久の小姓)
卞周山	『内藤』 p249(弘化2年), 267.
林正葛	『内藤』 p230. (元禄4年、島津光久の小姓)
何三官	『内藤』 p245. (寛永末年、庄屋代)
何一官	『内藤』 p256(李欣達の弟子、宝暦、通事)
侖屯・金官・頓官・勝堅 ・可春・利訓・龍仙	『内藤』 p245. (延宝3年、賜名)
大官・陳訓	『内藤』 p245. (天和元年)
陳宗碩	『内藤』 p249(弘化2年), 272.
清春	『内藤』 p255(元禄・宝永、通事)
姜早順	『内藤』 p255(宝永、通事), 256(宝暦、通事), 296.
姜正葛	『内藤』 p297. (通詞)

	慶丹・車伯仙・仲春・少川・春官・陽用・白長老・何中訓・朱忠哲・新清・朴陽南・孟心・源悦・奉南・次春・長蓮 用春・春美・新慶・訓清・朴貞用・鄭梅清・道覚・車早仙・勘春・長積・慶訓少伝・少栄・髟官・利南・郷官・三春・慶春	『内藤』 p293. (鹿屋・笠野原) 『内藤』 p293. (鹿屋・笠野原)
沖 繩	張献功 (一六・仲地麗仲) 安一官 安三官	「アケト」 「アケト」 「アケト」
その他 不 明	金石福 王建功 辛挺南 朴守栄 梁千頃 姜士俊 被擄人 229人 男婦 100余人 呉欽日 被擄男女1240人余 被擄人 1人 梁禹成・斐廷顕・河終男・権鷹ら20余人 被擄男婦 4人 被擄男女 321人 被擄人 146人 被擄人14名 嘉連 コスモ竹屋 李孝仁 (今村新助) 某	『内藤』 p3, 22. 『内藤』 p3. 『内藤』 p3. 『内藤』 p86. (罪人、刷還後に刑を受く) 『内藤』 p103, 107. 『内藤』 p8. (慶長 6年刷還) 『内藤』 p8. (慶長 7年、日本人に率いられ還る) 『内藤』 p8. (宗氏より慶長 8年刷還) 『内藤』 p8. (慶長 8年走回) 『内藤』 p9. (慶長12年、呂祐吉等による刷還) 『内藤』 p10. (慶長18年、倭船による送還) 『内藤』 p10, 85. (元和 3年帰国) 『内藤』 p10. (元和 3年、平調興の船で送還) 『内藤』 p10. (元和 3年、回答使による刷還) 『内藤』 p10. (寛永 2年、鄭岬等による刷還) 『内藤』 p11. (寛永20年、通信使による刷還) 「丸茂」 (小西行長のもと、セミリオで教育を受く、後火刑) 「丸茂」 (宣教師ズラと共に捕縛さる) 「丸茂」 (増田長盛の庇護を受く) 「丸茂」 (七才の児童、詠詩に感ひ秀吉が帰国を許す)